



ネットワークカメラ

VB-C300/VB-C300B

# バックアップツール&リストアツール 使用説明書

## ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 運用した結果の影響につきましては、2 項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。

JPN

## 目次

1. 概要 .....	3
1.1. はじめに .....	3
1.2. 動作環境 .....	3
2. バックアップツール操作手順 .....	5
2.1. 操作の流れ .....	5
2.2. 起動 .....	5
2.3. カメラの選定方法 .....	5
2.4. 「カメラ情報入力画面」から1台ずつカメラ情報を入力し実行する方法 .....	6
2.5. 「カメラ指定ファイル」からカメラ情報を読み込み実行する方法 .....	9
2.6. カメラ情報の削除 .....	13
2.7. ログの表示と保存 .....	14
2.8. バックアップファイルについて .....	16
2.9. バックアップツールのバージョン情報 .....	16
3. リストアツール操作手順 .....	17
3.1. 操作の流れ .....	17
3.2. 起動 .....	17
3.3. リストアツールの操作手順 .....	18
3.4. ログの表示と保存 .....	21
3.5. リストアツールのバージョン情報 .....	22
4. メッセージ一覧 .....	23
4.1. メッセージ一覧 .....	23
4.2. 情報レベル .....	23
4.3. エラーレベル .....	23

## 1. 概要

### 1.1. はじめに

この使用説明書は、ネットワークカメラ VB-C300/VB-C300B（以降、VB-C300）の設定値をバックアップするための「バックアップツール」と、バックアップした設定値を本体にリストアするための「リストアツール」の操作方法について説明しています。

バックアップツールは、VB-C300 の本体設定情報を取り込み、専用形式のファイル（以降、バックアップファイル）を作成します。

バックアップの処理は、最大 30 台のカメラを一括して行うことができます。

また、リストアツールとバックアップファイルにより、VB-C300 の設定をバックアップ時点の設定に戻すことや、バックアップを行った VB-C300 と同じ設定を、他の VB-C300 に行うことができます。

#### 商標について

- Canon はキヤノン株式会社の登録商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
- その他、本書に記載された商品名、社名などは各社の商標または登録商標です。

### 1.2. 動作環境

本ツールの動作環境は以下の通りです。

OS/ブラウザ	Windows 2000 Professional (SP4) / Internet Explorer 6.0 (SP1) Windows XP (SP1a) / Internet Explorer 6.0 (SP1) Windows XP (SP2) / Internet Explorer 6.0 (SP2), 7.0 Windows Server 2003 Standard Edition / Internet Explorer 6.0 Windows Server 2003 Standard Edition (SP1) / Internet Explorer 6.0 (SP1), 7.0 Windows Server 2003 Standard Edition (SP2) / Internet Explorer 6.0 (SP2), 7.0 Windows Server 2003 R2 Standard Edition / Internet Explorer 6.0 (SP1), 7.0 Windows Server 2003 R2 Standard Edition (SP2) / Internet Explorer 6.0 (SP2), 7.0 Windows Vista (Home Basic, Home Premium, Business, Enterprise, Ultimate) / Internet Explorer 7.0
ハードウェア	上記 OS で推奨される PC
対象カメラ	ネットワークカメラ VB-C300/VB-C300B

**注意事項****<バックアップツール/リストアツール共通>**

- バックアップ/リストアの処理中にケーブルを抜いたり、カメラの電源を切ったりしないでください。カメラの故障の原因になります。
- ネットワークで接続された複数の PC 上で、バックアップツール/リストアツールを同時に使用しないでください。カメラの故障の原因になります。
- Windows Vista をお使いの場合は、バックアップツール/リストアツールの実行ファイル「VBC300BK.exe」、 「VBC300RS.exe」を「C:¥windows」や「C:¥Program Files」に入れて使用しないでください。ログファイルが正常に保存されない場合があります。  
また、バックアップファイルの保存先フォルダに「C:¥windows」や「C:¥Program Files」を使用しないでください。
- バックアップツール/リストアツールを使用する際は、他のアプリケーションをすべて終了してください。  
また、カメラへの接続が無い状況 (NC ビューワーや VK-64/VK-16 ビューワーなど) でご使用ください。
- イン트라ネット等の安定したネットワーク環境でご使用ください。
- プロキシサーバーを経由したバックアップ/リストア操作には対応していません。

**<バックアップツール>**

- バックアップファイル名とログファイル名が一致する場合、バックアップファイルにログ情報が追記されます。  
バックアップファイル名には、必ずログファイル名とは別の名称を付けてください。  
ログファイル名は予め決められており、「VBC300BK.log」です。

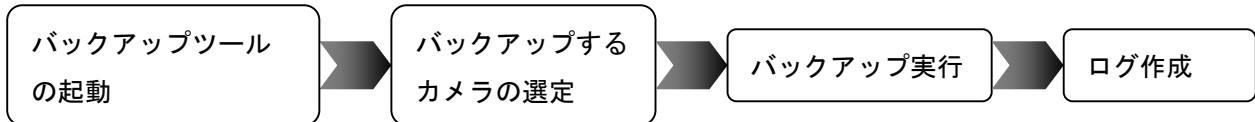
**<リストアツール>**

- リストアツールでは、管理者パスワード、許可ユーザーのユーザーリストおよびパスワードのリストアも可能です。(→P. 19)
- 管理者パスワード、許可ユーザーのユーザーリストおよびパスワードのリストアを実行した場合、バックアップファイルを取得した時点の設定に戻ります。  
リストアを開始する前に、必ず、バックアップ取得時の管理者パスワード、許可ユーザーのユーザーリストおよびパスワードをご確認ください。
- 改編 (編集・加工等) されたバックアップファイルは、リストアできません。
- ネットワークの設定 (アドレス設定方式、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ)、時刻設定 (日付、時間、タイムゾーン) は、リストア対象外です。  
リストア前にカメラに設定されていた値から変更されません。

## 2. バックアップツール操作手順

### 2.1. 操作の流れ

●バックアップを行うまでの操作の流れは以下の通りです。



※カメラの選定方法は、2通りあります。

### 2.2. 起動

●アプリケーションの実行ファイル「VBC300BK.exe」をダブルクリックしバックアップツールを起動します。



[カメラ情報入力画面]

### 2.3. カメラの選定方法

●バックアップするカメラの選定には、以下の2通りの方法があります。

- ① 「カメラ情報入力画面」から1台ずつカメラ情報を入力し実行する方法 (→P. 6)
- ② 「カメラ指定ファイル」からカメラ情報を読み込み実行する方法 (→P. 9)



複数台のカメラのバックアップを一括して行う場合は、「カメラ指定ファイル」からカメラ情報を読み込み実行する方法が便利です。(→P. 9)

## 2.4. 「カメラ情報入力画面」から1台ずつカメラ情報を入力し実行する方法

- 「カメラ情報入力画面」から、カメラ情報を入力します。

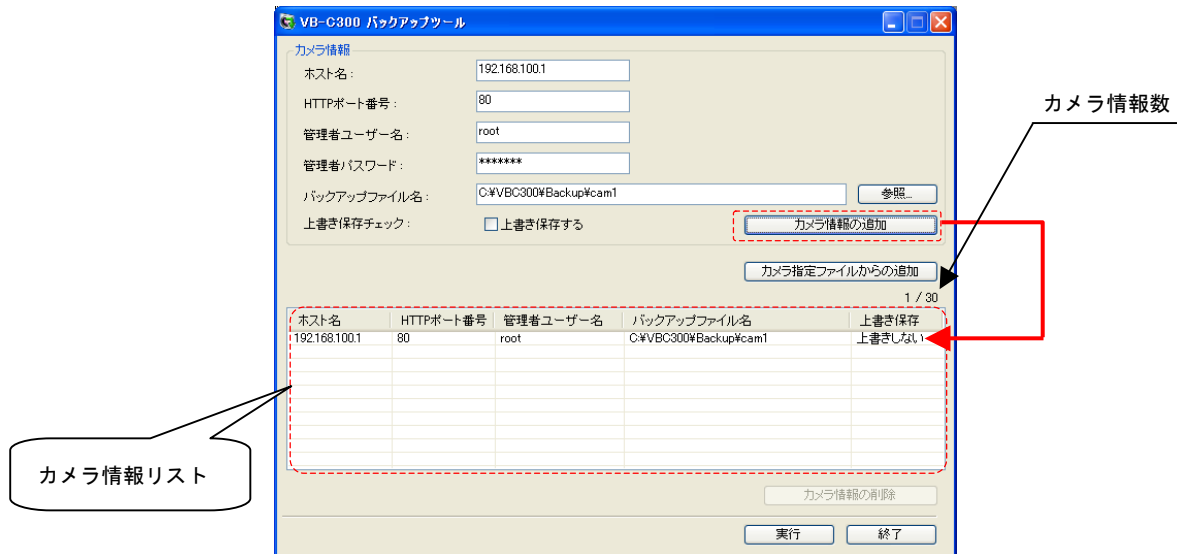
- ① **ホスト名**  
カメラのホスト名、または、IP アドレスを入力します。
- ② **HTTP ポート番号**(デフォルト : 80)  
カメラの HTTP ポート番号を入力します。
- ③ **管理者ユーザー名**  
カメラの管理者ユーザー名「root」を入力します。
- ④ **管理者パスワード**  
カメラの管理者パスワードを入力します。
- ⑤ **バックアップファイル名**  
バックアップファイルの名称を**絶対パス**で入力します。  
[参照] ボタンをクリックすると、ファイル保存ダイアログから入力できます。
- ⑥ **上書き保存チェック**  
チェックあり : 既存のバックアップファイルがある場合、ファイルを上書きします。  
チェックなし : 既存のバックアップファイルがある場合、バックアップファイルは更新されず、ログリスト上に「指定されたファイルは既に存在します。」とメッセージが表示されます。



- バックアップファイルは専用形式で作成されますが、メモ帳などのエディターで開くことができ、作成情報が確認できます。(→P. 16)
- バックアップファイル名の保存先パスを省略し、ファイル名のみを指定して処理を実行した場合、バックアップファイルは実行ファイル「VBC300BK.exe」と同じフォルダに作成されます。

## ⑦カメラ情報の追加

「カメラ情報の追加」ボタンをクリックし、①～⑥で入力したカメラ情報をカメラ情報リストに登録します。

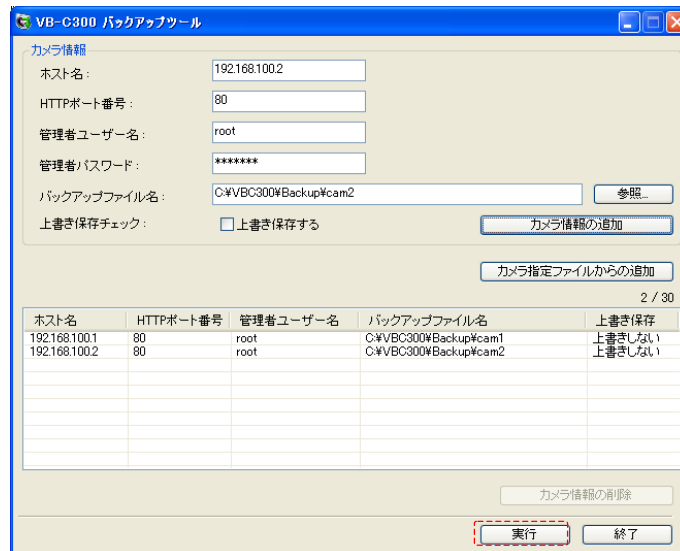


「カメラ情報」は最大で 30 台分まで追加できます。追加された「カメラ情報数」は、画面中央の右側に表示されます。

例) 5 / 30 . . . 5 台のカメラ情報が登録されている状態(最大 30 台まで)

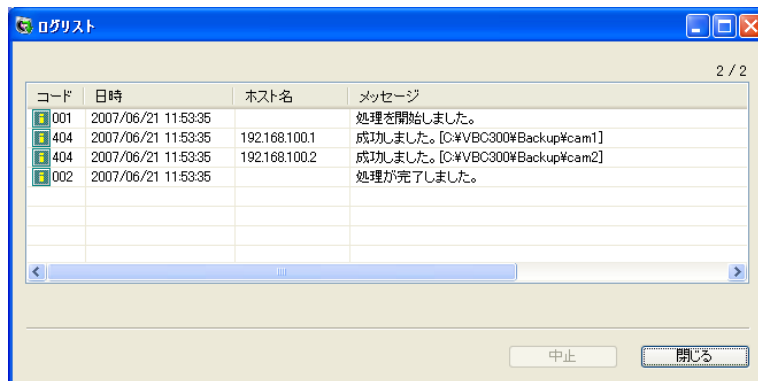
## ⑧実行

「実行」ボタンをクリックし、バックアップを実行します。



- 複数台のバックアップを行う際は、①～⑦の操作を繰り返し行ってください。
- 台数が多い場合には、「カメラ指定ファイル」からカメラ情報を読み込み実行する方法が便利です。
- 「カメラ指定ファイル」によるバックアップは、次項で説明します。

バックアップ処理が終了すると、処理結果のログがダイアログに表示されます。



ログ表示の詳細については、2.7項を参照ください。(→P. 14)

### 注意事項

バックアップファイル名とログファイル名が一致する場合、バックアップファイルにログ情報が追記されます。

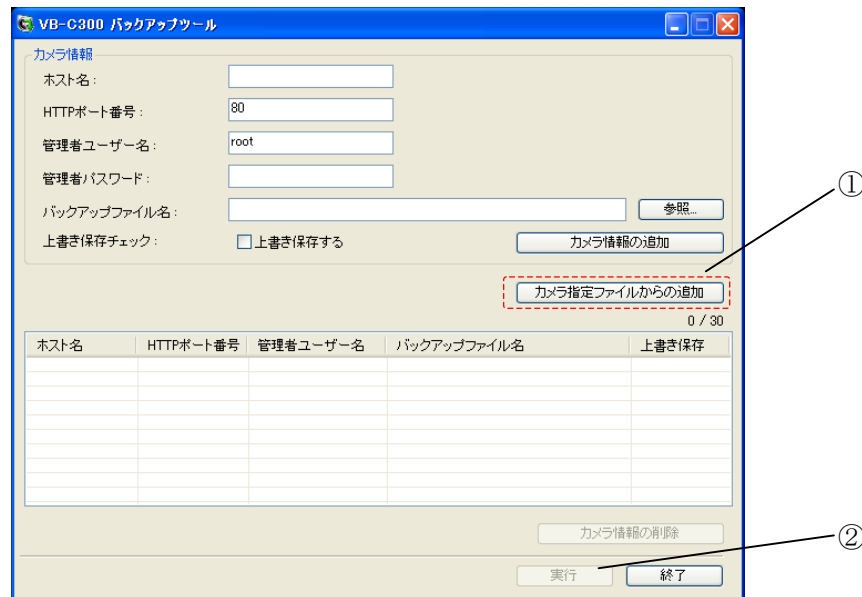
バックアップファイル名には、必ずログファイル名とは別の名称を付けてください。

ログファイル名は予め決められており、「VBC300BK.log」です。



## 2.5. 「カメラ指定ファイル」からカメラ情報を読み込み実行する方法

- 複数台のカメラのバックアップを一括して行う場合は、この方法が便利です。
- 「カメラ指定ファイルからの追加」ボタンで、カメラ情報を追加します。

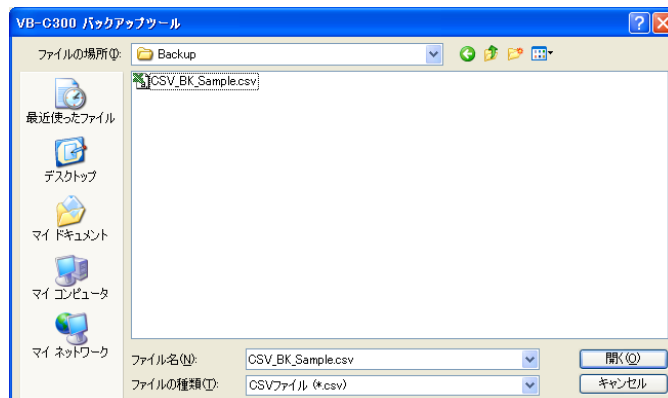


### ① カメラ指定ファイルからの追加

カメラ指定ファイルは、設定値をバックアップしたいカメラのカメラ情報を、CSV形式ファイルで作成したものです。

カメラ指定ファイルは、事前に作成しておく必要があります。(→P. 10)

画面上の「カメラ指定ファイルからの追加」ボタンをクリックし、作成したファイルを選択すると、カメラ情報を読み込み、カメラ情報リストに追加することができます。



カメラ指定ファイルのサンプル：「CSV\_BK\_Sample.csv」をバックアップツールと共に提供しております。参考としてご活用ください。

●カメラ指定ファイルは、以下の情報を順番通り記述し、CSV形式で作成します。

	項目	説明	備考
①	ホスト名	カメラのホスト名、 または IP アドレス	必須入力事項
②	ユーザー名	カメラの管理者ユーザー名	省略時:root
③	パスワード	カメラの管理者パスワード	省略時:VB-C300
④	バックアップファイル名	バックアップファイル名 (絶対パス)	必須入力事項
⑤	HTTP ポート番号	カメラの HTTP ポート番号	省略時:80
⑥	ファイルの上書き	バックアップファイルの 上書き保存フラグ 0:上書きしない 1:上書きする	省略時:上書きしない

[カメラ指定ファイルの情報]

## <カメラ指定ファイルの作成例>

■1台のカメラ情報は、1行で記述します。

## <Excelによる記述例>

	A	B	C	D	E	F	G
1	192.168.100.1	root	VB-C300	C:\VBC300\Backup\cam1	80	0	
2							

①ホスト名      ②管理者ユーザー名      ③管理者パスワード      ④バックアップファイル名      ⑤HTTPポート番号      ⑥ファイルの上書き指定

■カメラ情報は最大で30台分まで、追加が可能です。

既に、追加されているカメラ情報を含め、カメラ指定ファイルから追加するカメラ情報が30台分を越える場合、カメラ指定ファイルの読み込み処理は行われません。

## <Excelによる記述例>

	A	B	C	D	E	F	G
1	192.168.100.1	root	VB-C300	C:\VBC300\Backup\cam1	80	0	
2	192.168.100.2	root	VB-C300	C:\VBC300\Backup\cam2	80	0	
				⋮			
30	192.168.100.30	root	VB-C300	C:\VBC300\Backup\cam30	80	0	
31	192.168.100.31	root	VB-C300	C:\VBC300\Backup\cam31	80	0	

31台以上のカメラを指定した場合、ファイルを読み込みません。

## ■カメラ情報の省略

「ホスト名」、「バックアップファイル名」以外の項目は省略できる場合があります。

省略時の情報は、前述の表[カメラ指定ファイルの情報]をご参照ください。

「ホスト名」、「バックアップファイル名」の記述がない場合は、カメラ指定ファイルの読み込み処理が行われません。

### <Excel による記述例>

	A	B	C	D	E	F	G
1		root	VB-C300	C:\VBC300\Backup\cam1	80	0	
2	192.168.100.2	root	VB-C300	C:\VBC300\Backup\cam2	80	0	
3							

必須項目が記述されていない場合は、ファイルを読み込みません。

[必須項目]

- ・ ホスト名
- ・ バックアップファイル名

## 注意事項

カメラ指定ファイルには、管理者パスワードの記述が必要です。

データの取り扱いに十分ご注意ください。

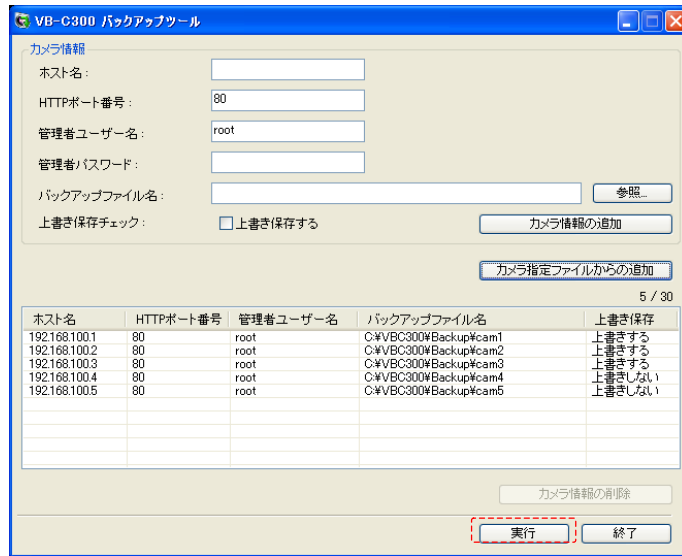
但し、管理者パスワードが工場出荷設定 (VB-C300) から変更されていない場合は、カメラ指定ファイルへの記述を省略できます。



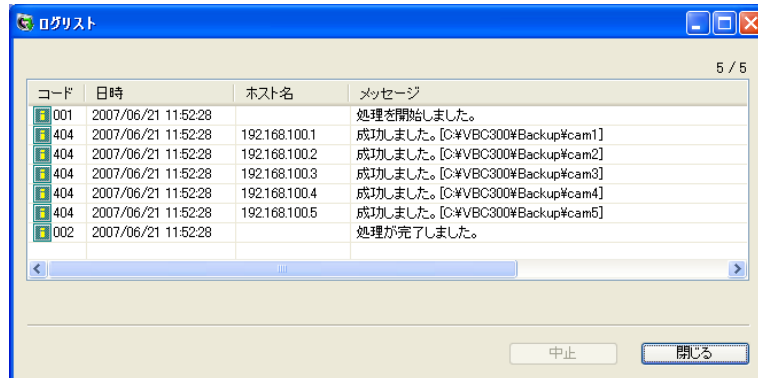
- 記述の途中に不要な改行がある場合、カメラ指定ファイルの読み込み処理は行われません。
- Excel を使ってカメラ指定ファイルを作成する場合、保存の際に「CSV(カンマ区切り) (\*.csv)」を選択してください。
- メモ帳などエディターを使ってカメラ指定ファイルを作成する場合、各項目の文字列全体をダブルクォーテーションで囲み、カンマで区切ってください。  
保存の際は、ファイルの拡張子を csv に指定してください。

## ②実行

「実行」ボタンをクリックし、バックアップを実行します。



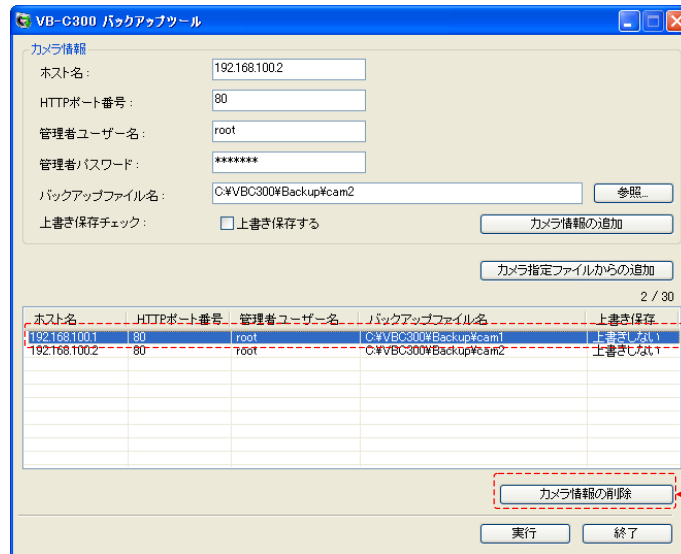
バックアップ処理が終了すると、処理結果のログがダイアログに表示されます。



ログ表示の詳細については、2.7項を参照ください。(→P. 14)

## 2.6. カメラ情報の削除

- 「カメラ情報の削除」ボタンで、カメラ情報リストに追加したカメラ情報を削除できます。



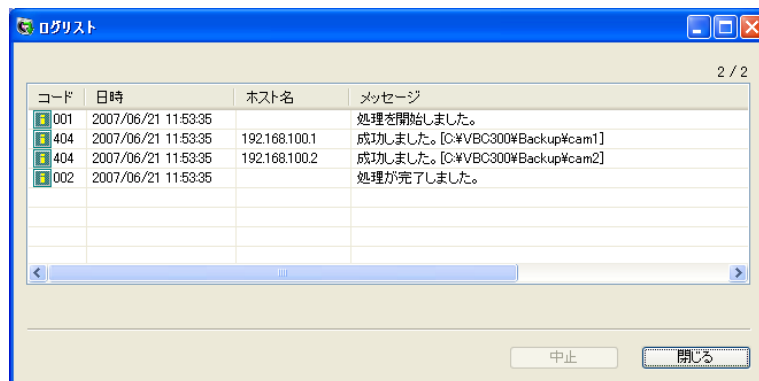
カメラ情報リストから削除するカメラ情報を選択し、「カメラ情報の削除」ボタンをクリックします。



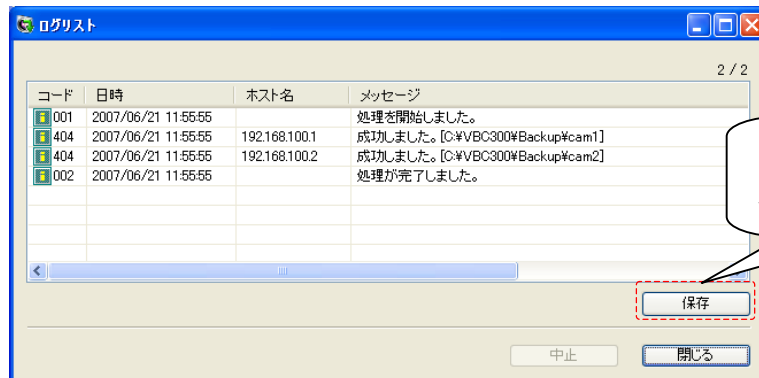
カメラ情報を選択していない場合、このボタンは使用できません。

## 2.7. ログの表示と保存

- バックアップを実行すると、処理結果がログリストとして表示され、ログファイルが自動的に保存されます。
- ログファイルは、バックアップツールの実行ファイル「VBC300BK.exe」が保存されているフォルダに自動的に保存されます。
- ログファイルは、ファイル名：VBC300BK.log で保存されます。
- ログファイルの自動保存に失敗した場合、ログリスト画面に「保存」ボタンが表示されます。また、ログファイルの自動保存に失敗したことを知らせるメッセージが表示されます。この場合は「保存」ボタンをクリックし、手動で保存を行ってください。

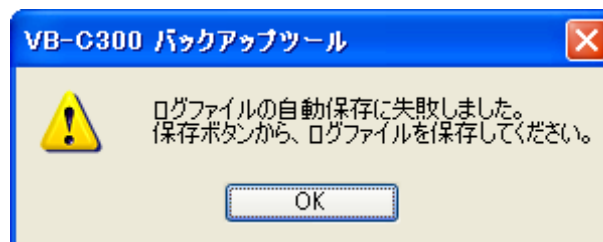


[ログファイルの自動保存に成功した時のログリスト]



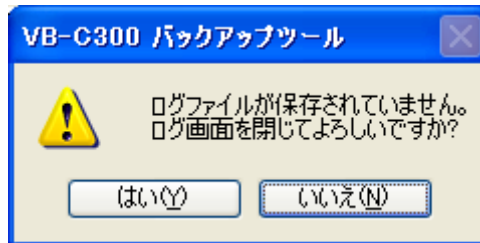
自動保存に失敗した場合は、  
保存ボタンが表示されます。

[ログファイルの自動保存に失敗した時のログリスト]

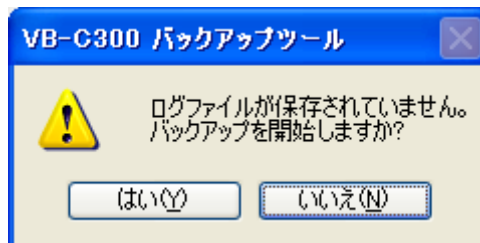


[ログファイルの自動保存に失敗した時のメッセージ]

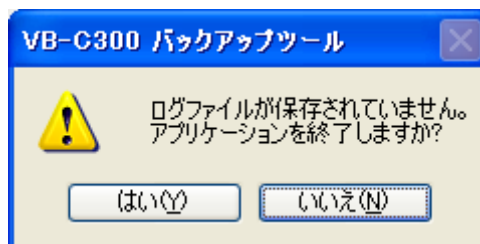
- ログファイルの自動保存に失敗し、手動保存をしないで以下の操作を行った場合、注意のメッセージが表示されます。  
ログファイルの保存が必要な場合は、メッセージダイアログの「いいえ」ボタン、ログリストの「保存」ボタンを順にクリックし、ログファイルの手動保存を行ってください。



[ログリスト画面を閉じようとした時のメッセージ]



[ログリスト画面を閉じずに、再度バックアップを実行しようとした時のメッセージ]



[バックアップツールを終了しようとした時のメッセージ]



- 既にログファイルが存在する場合は、ログ情報が追記されます。  
自動保存に失敗し、既に存在するログファイルを指定して手動保存すると上書きされます。
- ログファイルの自動保存に失敗した場合、バックアップツールを一度終了しない限り、再度バックアップを実行してログファイルの自動保存に成功しても、処理結果のログリストに「保存」ボタンが表示されます。

## 2.8. バックアップファイルについて

- メモ帳などのエディターを使って、バックアップファイルの作成情報を確認できます。



### [エディターで確認できる情報]

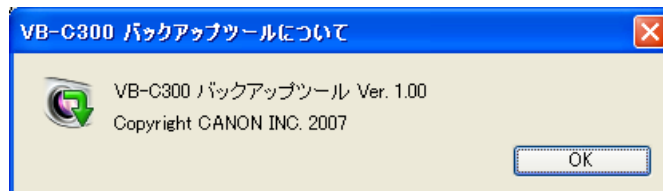
- ①機種名および本体全体のバージョン情報
- ②カメラファームウェアバージョン情報
- ③バックアップファイルの作成日時
- ④ホスト名、または、IP アドレス

### 注意事項

改編（編集・加工等）されたバックアップファイルは、リストアできません。  
エディター等で開く場合は、作成情報を確認するだけにしてください。

## 2.9. バックアップツールのバージョン情報

- バックアップツール画面左上のアイコンをクリックするとメニューが表示されます。  
表示されたメニューから「VB-C300 バックアップツールについて」を選択すると、バージョン情報ダイアログが表示されバージョン情報が確認できます。

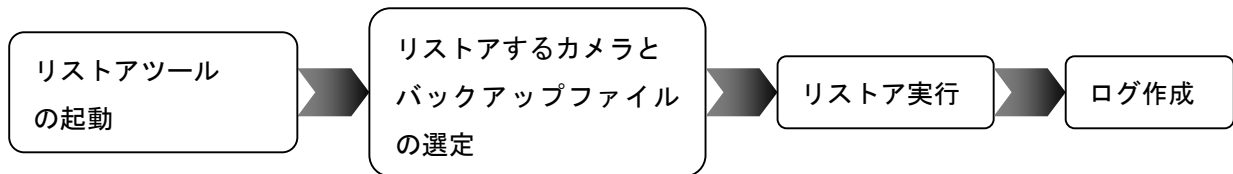




### 3. リストアツール操作手順

#### 3.1. 操作の流れ

- リストアを行うまでの操作の流れは以下の通りです。



#### 3.2. 起動

- アプリケーションの実行ファイル「VBC300RS.exe」をダブルクリックしリストアツールを起動します。

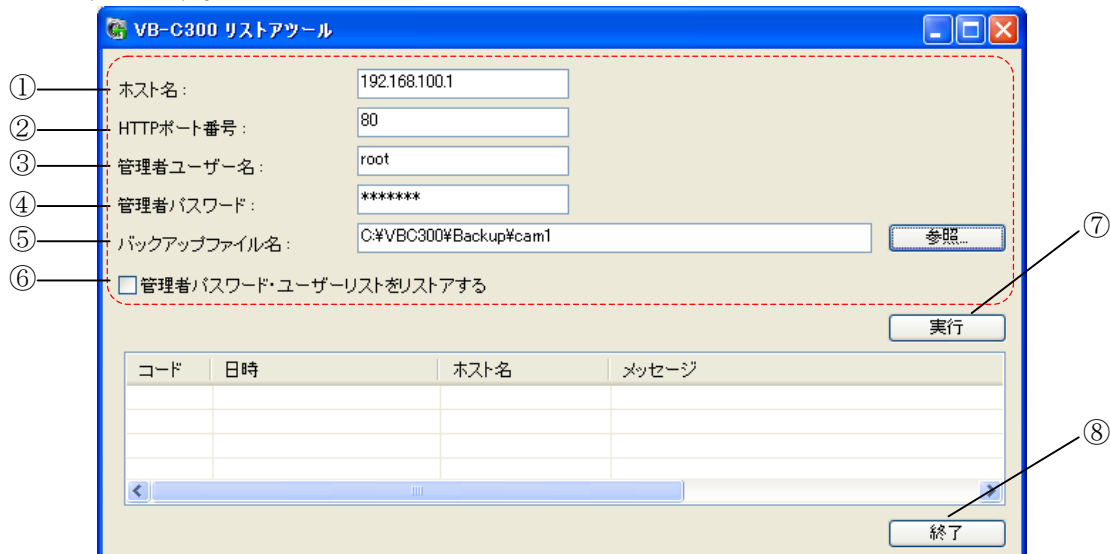


コード	日時	ホスト名	メッセージ

[カメラ情報入力画面]

### 3.3. リストアツールの操作手順

- リストアツール画面上で、設定値をリストアするカメラ情報とバックアップファイル名を指定します。



- ① **ホスト名**  
カメラのホスト名、または、IP アドレスを入力します。
- ② **HTTP ポート番号** (デフォルト : 80)  
カメラの HTTP ポート番号を入力します。
- ③ **管理者ユーザー名**  
カメラの管理者ユーザー名「root」を入力します。
- ④ **管理者パスワード**  
カメラの管理者パスワードを入力します。
- ⑤ **バックアップファイル名**  
リストアするバックアップファイルの名称を**絶対パス**で入力します。  
[参照] ボタンをクリックすると、ダイアログからバックアップファイルの選択ができます。

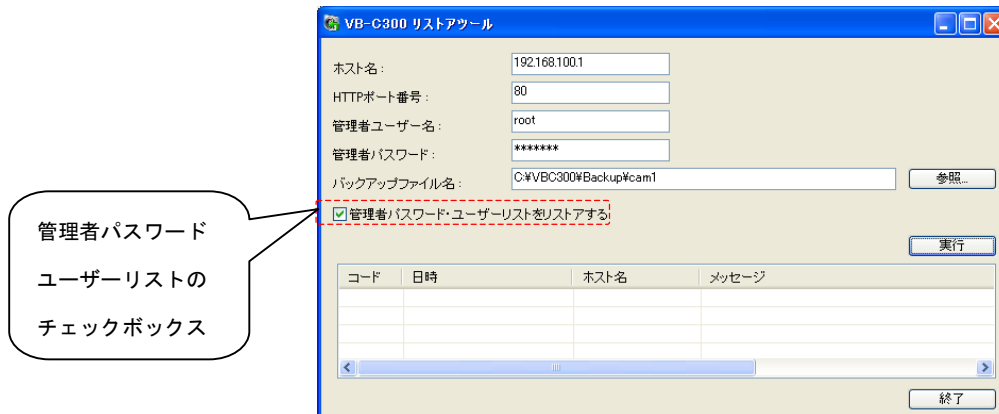
#### 注意事項

- 設定値のリストアは、複数台のカメラに対して一括して行うことはできません。
- リストアするバックアップファイルは、VB-C300 バックアップツールで作成されたファイルにのみ対応しています。
- 改編 (編集・加工等) されたバックアップファイルは、リストアできません。
- ネットワークの設定 (アドレス設定方式、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ)、時刻設定 (日付、時間、タイムゾーン) は、リストア対象外です。  
リストア前にカメラに設定されていた値から変更されません。

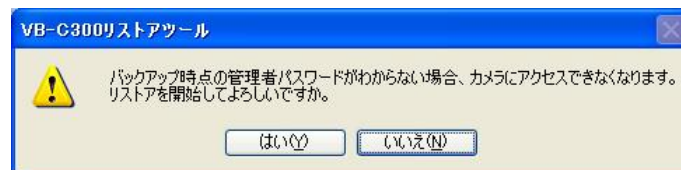
⑥ 管理者パスワード・ユーザーリストをリストアする

チェックあり：管理者パスワード、許可ユーザーのユーザーリストおよびパスワードをバックアップファイル取得時点の設定に戻します。

チェックなし：管理者パスワード、許可ユーザーのユーザーリストおよびパスワードはリストアされません。



チェックボックスにチェックを入れ、「実行」ボタンをクリックすると、以下のメッセージが表示されます。



**注意事項**

管理者パスワード、許可ユーザーのユーザーリストおよびパスワードのリストアを実行した場合、バックアップファイルを取得した時点の設定に戻ります。

リストアを開始する前に、必ず、バックアップ取得時の管理者パスワード、許可ユーザーのユーザーリストおよびパスワードをご確認ください。

## ⑦ 実行

「実行」ボタンをクリックし、リストアを実行します。

コード	日時	ホスト名	メッセージ



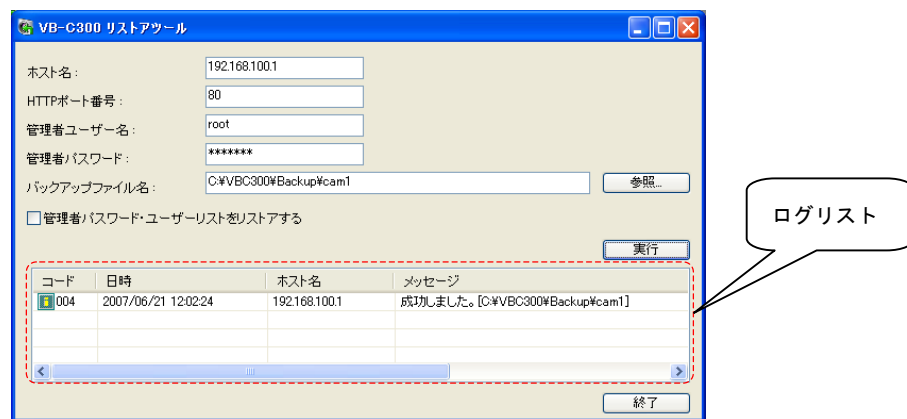
リストアが成功すると、カメラが自動的に再起動します。

### 3.4. ログの表示と保存

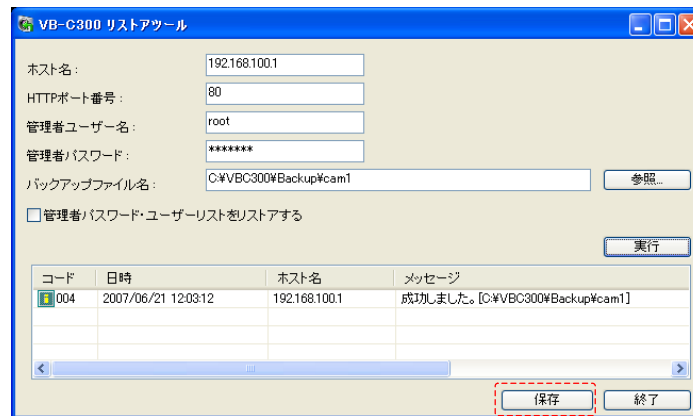
- リストアが終了すると、処理結果が画面のログリスト欄に表示され、ログファイルが自動保存されます。
- ログファイルは、リストアツールの実行ファイル「VBC300RS.exe」が保存されているフォルダに自動的に保存されます。
- ログファイルは、ファイル名：VBC300RS.log で保存されます。
- ログファイルの自動保存に失敗した場合、リストアツールのダイアログ上に「保存」ボタンが表示されます。

また、ログファイルの自動保存に失敗したことを知らせるメッセージが表示されます。

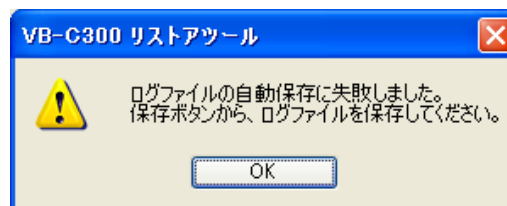
この場合は、「保存」ボタンをクリックし、手動で保存を行ってください。



[ログファイルの自動保存に成功した時のログリスト]

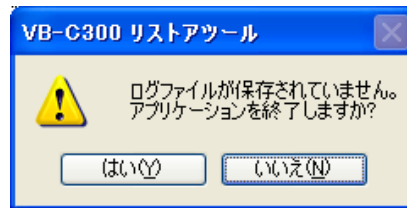


[ログファイルの自動保存に失敗した時のログリスト]



[ログファイルの自動保存に失敗した時のメッセージ]

- ログファイルの自動保存に失敗し、ログファイルを保存しないでリストアツールを終了しようとした場合、次のメッセージが表示されます。



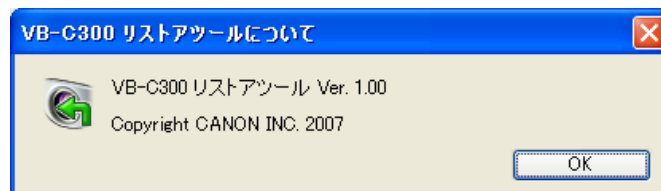
[リストアツールを終了しようとした時のメッセージ]



既にログファイルが存在する場合は、ログ情報が追記されます。  
自動保存に失敗し、既に存在するログファイルを指定して手動保存すると上書きされます。

## 3.5. リストアツールのバージョン情報

- リストアツール画面左上のアイコンをクリックするとメニューが表示されます。  
表示されたメニューから「VB-C300 リストアツールについて」を選択すると、バージョン情報ダイアログが表示されバージョン情報が確認できます。



## 4. メッセージ一覧

### 4.1. メッセージ一覧

表示されるメッセージには、いくつかのレベルがあります。

メッセージコードの 100 の位には、以下の意味があります。

コード	説明
000 番台	情報レベル
100 番台	パラメーターエラー(カメラ情報入力ミス、カメラ指定ファイルの指定ミス等)
200 番台	機種・バージョン情報エラー(動作対象外、不適合機種、バージョンエラー)
300 番台	通信系エラー
400 番台	ファイル系エラー

### 4.2. 情報レベル

情報レベルのメッセージは以下の通りです。

コード	メッセージ	説明
001	処理を開始しました。	処理を開始したことを示します。
002	処理が完了しました。	処理が終了したことを示します。
003	処理を中断しました。	処理中に、「中止」ボタンで処理を中断した場合に表示されます。
004	成功しました。[%1]	処理に成功したことを示します。 %1: バックアップファイル名

### 4.3. エラーレベル

エラーレベルのメッセージは以下の通りです。

コード	メッセージ	説明
103	ホスト名を指定してください。	ホスト名または IP アドレスを指定していない場合に表示されます。
104	HTTP ポート番号 (80, 1024~65535) を指定してください。	HTTP ポート番号を指定していない、または、80、1024~65535 以外の数値を設定した場合に表示されます。
105	管理者ユーザー名を指定してください。	管理者ユーザー名を指定していない場合に表示されません。
106	管理者パスワードを指定してください。	管理者パスワードを指定していない場合に表示されません。

コード	メッセージ	説明
108	バックアップファイル名を指定してください。	バックアップファイルの保存先パスを指定していない、または、バックアップファイルが存在しない場合に表示されます。
109	上書き保存フラグの値を正しく指定してください。	上書き保存フラグの値に0、1以外の数値を指定している場合に表示されます。
120	カメラ情報の最大数を超えるため、カメラ情報を追加できません。	カメラ情報リストに31以上のカメラ情報を追加しようとした場合に表示されます。
205	指定されたバックアップファイルは形式が不正であるか、または、ファイルの内容が壊れています。	指定したファイルがバックアップファイルではない、または、バックアップファイルが改変されている場合に表示されます。
206	指定されたバックアップファイルはこのカメラとは異なる機種でバックアップされたためリストアできません。	NTSC/PAL が一致しない場合に表示されます。
209	指定されたバックアップファイルは、現在のファームウェアバージョンのカメラにリストアできません。	バックアップファイル取得時点と現在のカメラのファームウェアバージョンが異なる場合に表示されます。
211	バージョンが異なるため、バックアップできません。	バージョンアップ等により、ファイルの構成が変わった場合に表示されます。
212	指定されたバックアップファイルは、新しいバージョンのため、このリストアツールでは扱えません。	バックアップファイルのバージョンが Ver1.00 でない場合に表示されます。
301	カメラに接続できませんでした。	通信相手が見つからない、通信が異常、通信が拒否された等、通信に失敗した場合に表示されます。
302	ユーザー認証に失敗しました。	ユーザー認証に失敗した場合に表示されます。
403	バックアップファイルの作成に失敗しました。	バックアップファイル作成に失敗した場合に表示されません。
404	指定されたファイルは既に存在します。	バックアップファイルの保存先に既にファイルが存在し、上書き保存を設定していない場合に表示されます。
407	指定されたバックアップファイルが見つかりません。	指定されたパスに、ファイルが見つからない場合に表示されます。
408	カメラ指定ファイルの読み込みに失敗しました。 カメラ指定ファイルをご確認ください。	カメラ指定ファイルのフォーマットが正しくない、読み込み禁止ファイルになっている等、ファイルに異常がある場合に表示されます。
	ログファイルの自動保存に失敗しました。 保存ボタンから、ログファイルを保存してください。	ログの自動保存に失敗した場合に表示されます。
	ログファイルの保存に失敗しました。	ログファイルの保存に失敗した場合に表示されます。
	ログファイルが保存されていません。 ログ画面を閉じてよろしいですか?	ログファイルの自動保存に失敗し、かつ、ログファイルが保存されていない場合に、ログ画面の[閉じる]ボタンを押下すると表示されます。



## メッセージ一覧

コード	メッセージ	説明
	<p>ログファイルが保存されていません。 バックアップを開始しますか?</p>	<p>ログファイルの自動保存に失敗し、ログファイルが保存されていない、かつ、ログ画面を閉じていない場合に、カメラ情報入力画面の[実行]ボタンを押下すると表示されます。</p>
	<p>ログファイルが保存されていません。 アプリケーションを終了しますか?</p>	<p>ログファイルの自動保存に失敗し、かつ、ログファイルが保存されていない時に、カメラ情報入力画面の[×]ボタン、[終了]ボタンを押下すると表示されます。</p>

**Canon**

キヤノン株式会社  
キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6 CANON **S**TOWER

YT1-5052-000 © CANON INC. 2007